

製品素材特性（免責事項）及びメンテナンスのご案内

製品には構成される素材の調達や加工、組み立ての工程のなかで発生する個体差や経年変化によって現れてくる表情などがあります。
これらは工程上少なからず発生することは避けられない、あるいは素材自体の特性ともいえる部分であり、不良の対象とはならないことをご理解いただけるようお願いいたします。

① 塗膜付き真鍮・銅製品の特性

（全体の経年変化を防ぐために表面塗膜が施されているもの）

- 落下や接触によって塗膜が剥がれますとその箇所から変色が進む可能性があります。
- 金属と塗膜の内部に残る僅かな酸化物による経年変化によって小さな黒ずんだ斑が発生してくることがあります。
- 柔らかい金属特性のため、表面に僅かな傷や凹凸が見られる場合がございます。
- 溶接の難しい金属であるため高度な技術によってもある程度の溶接痕が現れることがあります。
- 各パートの生産ロットの違いにより金属の色そのものに僅かな違いがみられることがあります。

② 塗膜なし真鍮・銅製品の特性

（素材そのものの風合いを活かすため表面塗膜が施されていないもの）

- 無垢の真鍮は酸化によって変色し、手に触れる部分などに特に変色が強く現れる特性があります。
- 柔らかい金属特性のため、表面に僅かな傷や凹凸が見られる場合がございます。
- 溶接の難しい金属であるため高度な技術によってもある程度の溶接痕が現れることがあります。
- 生産ロットの違いにより金属の色そのものに違いがみられることがあります。

③ 焼付塗装製品の特性

- 塗装膜と可動部分が密接する箇所では僅かな擦り傷が見えることがあります。
- 通常の使用範囲において視覚に入らない部分の僅かな塗装不良は許容の範囲となります。
- エッジ部分には塗料溜まりが発生することがあります。
- 塗装表面にはわずかな濃淡や微細なチップが混入することがあります。
- 同色のアイテムであっても生産ロットの違いにより塗装色に違いがみられることがあります。

④ 天然木製品（無垢材）の特性

- 天然木材は乾燥工程を経ていますが、湿気・乾燥の繰り返しによりさらに伸縮する場合がございます。
- 曲げ治具により成形した木製品の場合、時間経過と共に少なからず寸法差が生じます。
- 天然木には必ず板目、柾目、節目があり、材料取りによっては目の大きさや方向が異なることがあります。
- 杢目には虎斑（トラフ）や鳥眼目（バースアイ）などがあり、これらは材料に見られる個性的な表情のひとつです。
- 材料調達や加工時期の差によって組み合わせられる材料に濃淡が見えることがあります。
- 集成材を使用した製品は変形に強い一方で色目や木目の方向はランダムに形成され、接合部分には微細な亀裂や隙間が生じることがあります。
- 紫外線の長時間あたる場所に設置すると部分的に色目に変色します。

⑤ ガラス製品の特性

- 手吹きによるガラスシェードは製造工程がハンドメイドとなるため個体差が生じます。
- 製造の工程でガラス内部にわずかな気泡やチリが混入することがあります。
- 原料に含まれている不純物が溶けきらず、白や黒い点となって残ることがあります。
- ガラスに入る脈理（すじ）が現れることがありますが、傷ではなく天然素材であるが故の表情となります。
- 製造工程の様々な要因で生じる表面のわずかな傷でガラス強度に影響しないものは許容範囲とさせていただきます。
- ガラスを回転させて成形するシェードでは厚さに偏りが生じ、光を透過する表情が均一に見えない場合があります。
- 厚さの偏りによる重量個体差が調整代によっても解消できない場合には灯具のバランスに僅かな傾きが残ることがあります。
- カッティングによる開口部分には厚さが均一でない部分が見えることがあります。

⑥ 樹脂製品の特性

- 樹脂製のシェードやパーツは金型による成形製品のため接合部分にシームが見える場合があります。またエッジ部分にバリが発生する場合があります。
- 長期に渡り強い紫外線に当たることで変色や強度劣化が発生します。

⑦ ファブリック製品の特性

- リネン製品ではネップ（糸溜まり）のように見える箇所が大小含め点在します
- 光の透過により、点灯時と不点灯時では見え方に違いが生じます。
- 紫外線による経年変化が生じます。素材の発色は淡く、あるいは黄色みを帯びて変化していきます

①・③ のお手入れ方法

乾いた布や化学モップでの拭き取りに留め、研磨剤を有するクリーナーやスポンジ等は使用されないようお願いします。

② のお手入れ方法

日常的は乾いた布や化学モップでの拭き取りに留めてください。
研磨剤を有するクリーナーで磨くことにより美しい光沢を取り戻すことができます。
さらに研磨後にワックスを塗布することで色の変化を最小限に抑えることができます

④ のお手入れ方法

水拭きは形状を変化させる可能性があるため乾いた布での拭き取りに留めてください。
木製品用のオイルやソープの塗布は表面の色と風合いを大きく変化させます。

⑤・⑥ のお手入れ方法

湿った布やガラスクリーナーで拭き取りをすることができます。

⑦ のお手入れ方法

乾いた布や化学モップでの拭き取り留め、水拭きはしないでください。

Lynnbelys

有限会社 リンインクープ

TOKYO: 162-0064 東京都新宿区市谷仲之町2-10-3F tel 03 6323 8293

FUKUOKA: 810-0062 福岡市中央区荒戸 1-1-1-2F tel 092 725 8400

web : www.lynnbelys.com email : info@lynnbelys.com